

事業者向け放課後等デイサービス評価表 結果

回収率 100% 7名分

領域	番号	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点や改善へ向けての手立て
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	休み等の勤務状況によっては難しい場合もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	2	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	0	毎朝の朝礼や月1回の事業所研修で振り返りをして、全員で話す時間を作っている。職朝や会議、打ち合わせ等で子ども達の変化や気がかりな事等は度々共有する機会を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	公開し説明会を行なっているが、確認しやすく関心を持ってもらえるよう、よりわかりやすく紹介・発信する工夫を検討したい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	1	年に1回学校、地域、他施設の方3名にお越しいただき1年の取り組みの評価・検討を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	事業所内・外部と各職員が研修に参加している。各職員最低、年に1回は外部研修を受けている。事業所内、法人内でもケースを出し合い検討を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	定期的に面談を行い、ニーズや課題の把握に努めている。アドバイザーを招き、職員全体で話し合いながら計画作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0	活用頻度や状況を確認する時期を整理できたらと思う。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	みんなで意見を出している。職員間で相談やアドバイスをし合いながら取り組んでいる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	子ども達の様子や季節などに合わせた活動も検討している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	平日の放課後活動、土曜活動、長期休暇それぞれで子ども達の状況に応じて取り組む内容を話し合い計画している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	個別の課題、集団の中での力の発揮しどころなど意識して活動している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	打ち合わせを必ずしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	1	翌朝の職員朝礼時に行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	個別の課題をより意識した記録も心がけ、定着してきた。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	定期的に面談を行い、モニタリングしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	0	0	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	基本的にその子どもの担当が参加し、担当者会議に積極的に参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	学校への送迎の際、担任の先生とのその日の引継ぎや気になる事の情報共有、相談等を大事にしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	0	就学前に通っていた療育事業所と移行支援で連携し、移行支援シートや個別支援計画を通して実態把握、情報共有を行った。利用開始後も様子を伝え、アドバイス等もらいながら支援を行った。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	0	必要に応じて情報提供、連携を積極的にしていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	0	受診があった場合は結果を保護者と共有したり、センター実施の研修に参加したりするなどして連携を図っていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	0	地域の公園・児童館に遊びに行ったり、図書館に出かけたりしている。 公共の場（公園・福祉館・図書館・スーパー等）の利用を通じた交流が主である。工夫、検討したい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	1	自立支援協議会についての情報が乏しいため、積極的に知る努力をしたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	バタバタしがちなので余裕をもって、伝え合いを大事にしていきたい。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	0	0	今年度は1回学習会を実施した。スクラムニュースにてペアレントトレーニングについて学べるコーナーを設定し定期的に情報発信を行った。
保護者への説明	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	毎年、年度当初に説明会を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	より適切に応じ、一緒に考えていくことができるよう努力したい。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	コロナ5類への移行後、集まる機会を徐々に増やしてきた。保護茶会と銘打って少人数でも集う場を企画してきたが、時期や頻度等保護者の方々と相談しながら再検討していきたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	苦情・相談を気軽に寄せてもらえる関係作りを大事にしていきたい。

明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	月1回スクラムニュースを発行し、ホームページ等でも定期的に活動報告を行っている。連絡は遅くなってしまいうこともあったため、改善していきたい。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	活動を伝えたり、選択する場面では現物や写真、イラストを取り入れ伝え合うようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	1	西陵地域の民生委員の方々清掃活動にきてくださったり、餅つき等の季節の行事にお手伝いをいただいたりし地域の方の力をかりながら運営を行っている。地域の福祉行事に作品展示という形で参加し地域に向けて発信する機会を得ている。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	保護者への周知に関しては、より身近に確認しやすくなる工夫が必要であることを感じる。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	火災避難訓練、地震避難訓練を子ども達と行っている。保護者とも連携した連絡訓練等も行えたらと思う。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	職朝や会議で支援時の困りや、気がかりな事はすぐ出し合い話し合うようにしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	計画には記載されていない。説明、了解等の書類はあるが計画への記載はしていないため、検討が必要。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	0	アレルギーのある子どもはいないが、そのような状況になった場合は適切に対処する。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	ヒヤリとした出来事や気になる事はすぐに話し合い記録、共有している。

<事業所向け評価表の結果について>

- ③安全な環境に加え、わかりやすさ等への配慮の視点も加えて環境改善に努めていきたい。
- ⑩年度の初めに記入方式のアセスメントを行うように整備しなおした。その他のアセスメントツールの必要性や活用を検討したい
- ②③④療育施設からの引継ぎ、学校卒業後の場への移行など支援内容の共有や情報提供等、積極的に行っていきたい。
- ⑤状況によっては受診の必要性を保護者や学校と検討することや、受診時の結果の共有を通して連携を図りたい。研修の機会をとらえて参加していきたい。
- ⑥より子ども同士の直接的な交流が図れるよう、新たな交流のスタイルを工夫、検討していきたい。